

人権理事会 子どもの権利に関する会合で副高等弁務官が発言

2024/03/14

国連人権高等弁務官事務所

人権理事会で行われた子どもの権利に関する全日会合で、人権副高等弁務官が発言した。内容は以下のとおり。包摂的な社会的保護は、子どもの権利の尊重・保護・実現を確保するために不可欠である。これは、子どもが尊厳を保って生活し、健康に育ち、潜在能力を最大限に発揮することを可能にし、また、交差的・複合的危機と拡大する不平等の中で、子どもを貧困から救い、2030 アジェンダに向けた前進を支援するものでもある。しかしながら、ILO とユニセフの 2030 年の報告書によれば、大きな地域格差はあるが、世界の 24 億人の子どもの 17 億 7 千人が社会的保護にアクセスできない状況にある。全ての子どもの包摂的な社会的保護達成のための枠組み・指針・資源は存在する。必要なのは、法的・政策的転換、国際連帯・協力、政治的意思である。各国政府には、子どもの権利の実現、潜在能力の発揮、社会への参加のための社会契約を締結する役割がある。